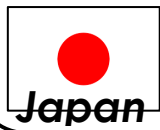


架け橋



JICA 海外協力隊 2021 年 1 次隊

ナミビア 小学校教育

ウサコス エロンゴサ小学校

川畑 舞



第 23 「乾季と雨季の様子」号

(2023 年 1 月発行)

1、ウサコスの乾季と雨季の様子

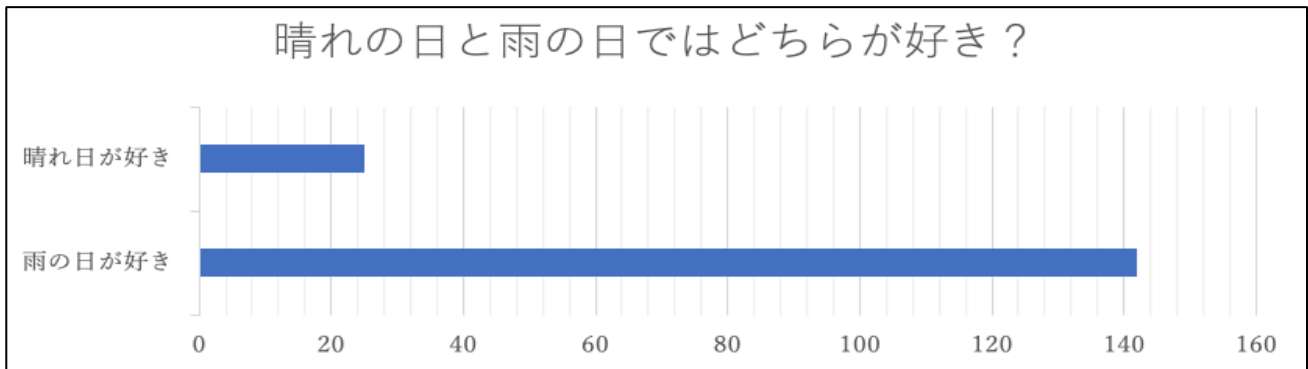
今回は、私の任地ウサコスの乾季と雨季の様子についてお伝えします。

ナミビア共和国には乾季と雨季（12 月～3 月くらい）があり、町の風景や生活が変わります。ウサコスでは、乾季に町全体の色が茶色になり、水不足によって時折断水が起こります。一方、雨季には町の草木が緑色になり、美しい景色となるのですが、大雨により停電したり、町の至るところに川ができて 1 時間以上道が通れなくなったりします。雨季に川が流れていた場所は、乾季には「ドライリバー」となり、そこでキャンプをしたり、子どもたちが遊んだりしています。

乾季の様子	雨季の様子
茶色の景色	緑色の景色
	
ドライリバーで遊ぶ子どもたち	川が流れ家に帰れない人々
	
ドライリバーの乾燥する土	川となり激しく流れる雨水
	

2、晴れの日と雨の日ではどちらが好き？

エロンゴサ小学校の児童 167 名に晴れの日と雨の日では、どちらが好きかを聞いてみました。結果は以下の通りです。



日本では晴れの日が好き人が多いと思いますが、ナミビア共和国では、断然、雨の日の方が好きと答える人が多いです。子どもたちにその理由を聞いてみると、「シャワーを浴びられるから」「綺麗な水を飲めるから」「涼しいから」などでした。肌がカサカサになったり、人によっては鼻血が出たりするほど乾燥する乾季が長く続くため、ウサコスでは、町の貯水タンクの水がなくなり、ひどい時は2週間断水が続くこともあります。断水になると水道水を飲んだり、シャワーを浴びたり、食器を洗ったり、洗濯をしたりすることができなくなるので、人々にとって雨水はダイヤモンドと同じようです。

3、雨季に現れ始める虫たち

雨季になると町の緑が増えると共に、色々な虫が見られます。写真①は、雨が降った後に現れるので現地の人より「レインスパイダー」と呼ばれています。写真②は、アンゴラ、ナミビア、ボツワナ、ジンバブエ、南アフリカの一部に自生している虫です。

① レッドレインスパイダー



② アーマード・グランド・クリケット



③ モパネワーム (ガの幼虫)



④ ミリピート (ヤスデ)

